

科目名	基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) (Clinical Practice in Fundamental Nursing Ⅱ)			科目コード	209
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数(時間)	2単位(90時間)
科目区分	専門科目	履修時期	2年次後期	関連DP	看①②③④
担当教員	徳永 なみじ、野本 百合子、岡田 ルリ子、香川 里美、谷本 淳子、森 敬子、大野 祐子				
実習内容	健康問題を有する入院中の患者に対し、看護過程に沿って援助を実施することを通して看護の対象を統合体として理解し、その人に必要、かつ適切な看護を実践するための能力を養う。				
実習目標	1 援助的人間関係に基づく相互行為を展開し、健康問題の解決に必要な情報を収集する。 2 収集した情報をアセスメントし、対象の看護上の問題を関連要因とともに記述する。 3 対象の看護上の問題を解決するための援助を具体的に計画する。 4 対象の反応を日々の相互行為と客観的情報から読み取り、看護援助が適切かを振り返る。				

授業計画

実習内容	
1 実習場所：県立中央病院・伊予病院 2 実習期間：10日間 3 実習展開：病棟で療養している人を1名受け持ち、既習の看護技術、フィジカルアセスメントの技術を用いながら、看護過程を展開する。 *詳細は、実習要綱に示す。	
成績評価方法	評価項目を点数化し、実習目標の達成度 80%、実習への取り組み姿勢 20%として評価する。
教科書	阿曾洋子・氏家幸子・井上智子「基礎看護技術 第8版」(医学書院) 守田美奈子「写真でわかる 看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス」(インターメディカ)
参考図書等	なし
授業時間外の学習について	看護過程、人体の構造・機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ等の既修得知識を実習で活用できるよう復習する。 基礎看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、フィジカルアセスメントで学習した技術の一定レベルでの修得を前提としているため、技術学習を主体的に進める。
関連科目	202 看護倫理、203 基礎看護方法論Ⅰ、204 基礎看護方法論Ⅱ、205 基礎看護方法論Ⅲ、206 フィジカルアセスメント、207 看護過程、208 基礎看護学実習Ⅰ
備考	<input checked="" type="checkbox"/> 徳永、野本、岡田、香川、谷本、森、大野：看護師(医療機関)